

---

# 2021年3月期 決算説明 & 新中期経営計画説明資料

---

東証1部 5121  
藤倉コンポジット株式会社

2021年6月14日

---

代表取締役社長 森田健司





# 目次

本日お伝えしたいこと

## 事業概要

- 新社名に託す思い
- 人々の「豊かなくらし」をささえるコンポジット技術

## 決算説明 & 業績予想

- 第5次中期経営計画時に主戦市場減速の影響を受けた収益性の向上が最重要課題

## 前中計の振り返り、新中計概要

- 前中計のまとめ
- 新中計に向けて



# 1. 事業概要

---

2019年4月より



FUJIKURA COMPOSITES

## 藤倉コンポジット株式会社

藤倉の創始者である  
歴史ある名前を引き継ぐ

複合化技術を生かし、  
ゴムだけにとらわれない  
新しい製品分野に積極的に進出

- 事業内容の広範囲化  
ゴルフのカーボンシャフトなど、ゴムを使用しない製品の増加。
- 人材採用  
化学分野以外からも人材の採用が望める。

## コンポジット = 複合化

複数の要素を組み合わせること。

当社は、ゴムと布を組み合わせる技術から、金属や樹脂などと組み合わせることで様々な製品を生み出してきました。現在でも、当技術をゴムだけでなく、様々な異なった素材を組み合わせることで新たな価値の創出に取り組んでおります。

ゴム



布



ダイヤフラム など

ゴム



樹脂



逆止弁 など

カーボン



金属



MCI(メタルコンポジットアイアン)など

給湯器やトイレをはじめ、住宅のあらゆる設備に製品が使われている

Oリング



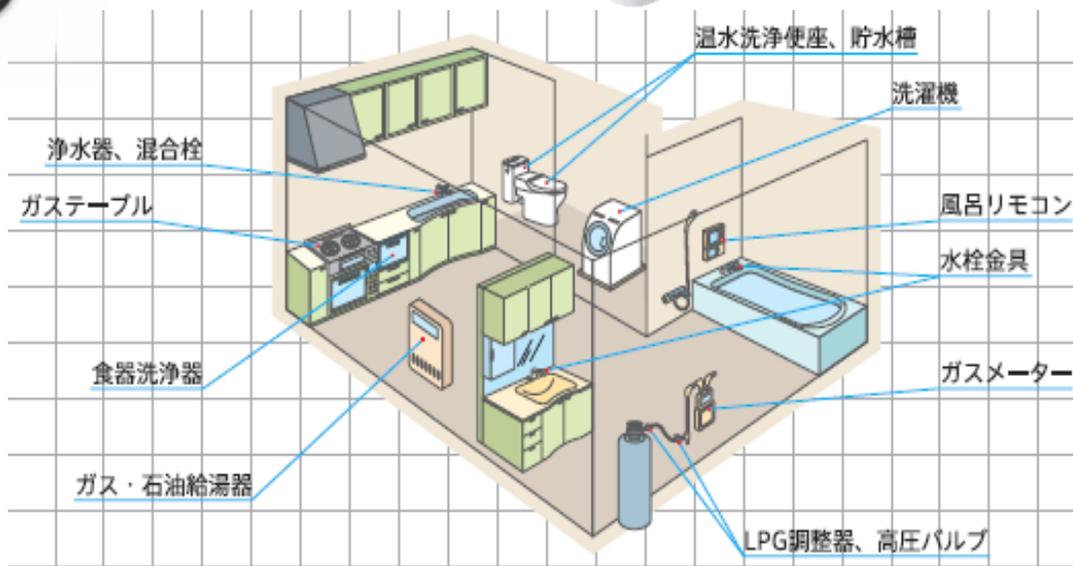
衛陶機器用ガスケット



洗濯機用ダイヤフラム



給湯器用Oリング



風呂リモコン用パッキン



ガスメーター用ガスケット



ガスコンロ用弁ゴム



LPG調整器用ダイヤフラム



ダイヤフラム

# “ものづくり”をささえる

一台の自動車に膨大な数の製品が使われている



ダイヤフラム

インレットチェックバルブ用  
ガスケット

Oリング

オイルフィルタ用  
ガスケット

インジェクター用  
Oリング

ウェストゲート  
アクチュエータ用  
ダイヤフラム

オイルプレッシャー用  
ダイヤフラム

インテークマニホールド用  
ガスケット

Li-ion用断熱ゴム

ダイレクトイグニッションシステム用カバー

液晶や半導体など、日常に欠かせない部品を製作する産業機械の中に製品が使われている



BFシリンダ

圧力を一定に保ち圧力変化を防ぐ

レギュレータ

床からの微振動を制御

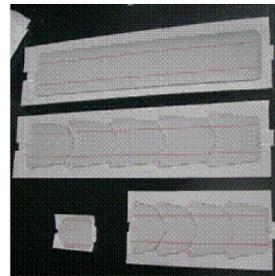
除振装置

このほか、鉄道・船舶・医療・音響・印刷等の分野でも製品が使われている

「発電」「送電」「蓄電」にかかわる製品を製造し“エネルギー”をささえる



非常用マグネシウム空気電池



風力発電機用ブレード保護シート



常温収縮チューブ



コンサベータ



多種機能性テープ



各種モールド品

# “いのち” “レジャー” をささえる

「医療」や「救命」に役立つ製品を製造し、  
“いのち”をささえる



レギュレータ



流量制御弁



ラテックス製品



災害用テント



膨脹式救命筏



膨脹式救命胴衣

「ゴルフ」「アウトドア」を通して、  
“レジャー”をささえる



ゴルフシャフト：Speeder EVOLUTION VII



ゴルフシャフト：VENTUS BLUE



ゴルフシャフト：MCI



登山靴・ハイキングシューズ

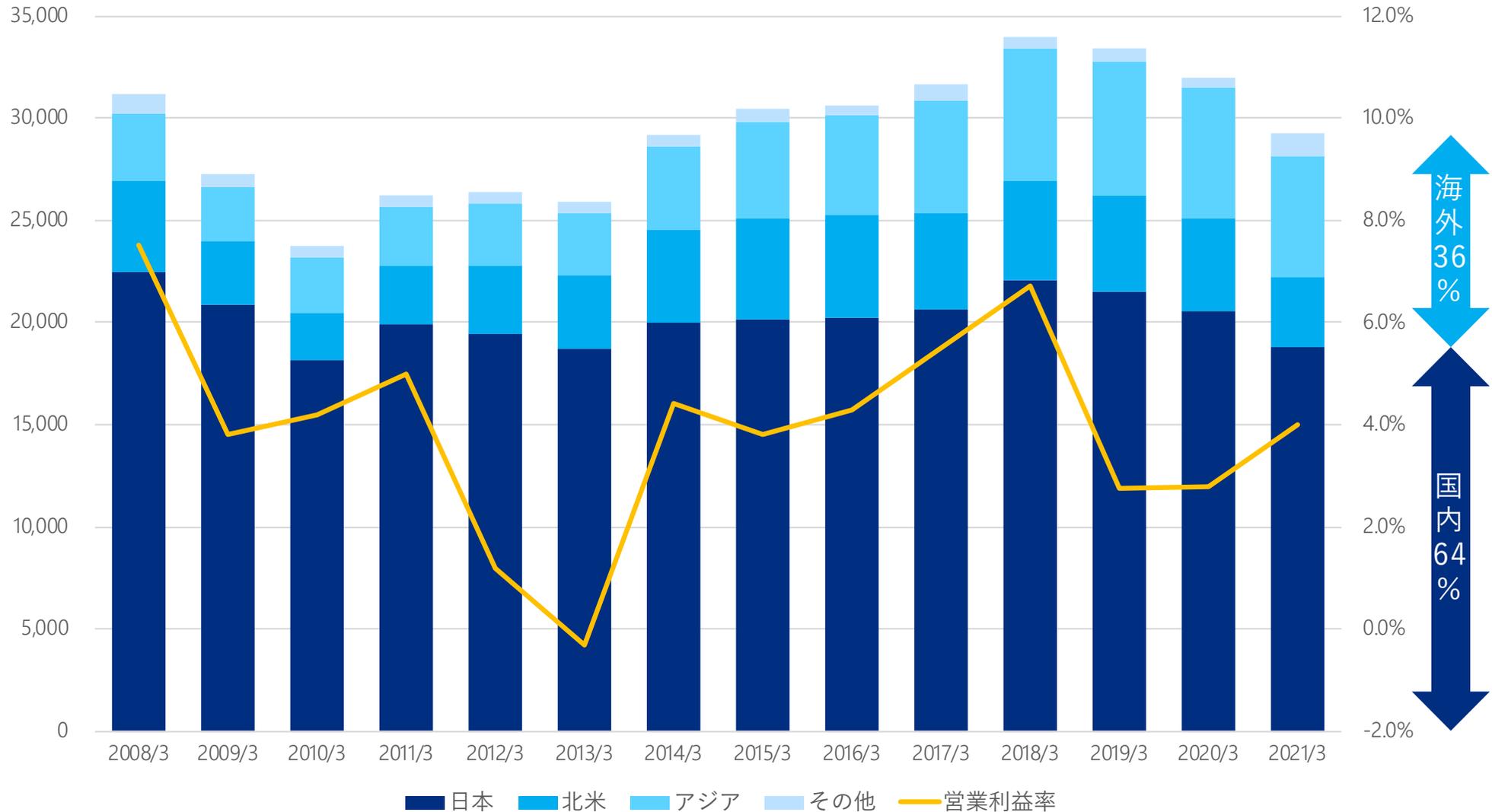


トレッキングポール

# 売上高と売上高営業利益率の推移

■ 売上高は減収ながら、営業利益率は改善を実現

単位：百万円





## II. 2021年3月期決算情報

---



FUJIKURA COMPOSITES

- 自動車市場は、下半期回復基調となったが、前年比減収となった。
- 制御機器関連企業の設備投資が好調に推移した。
- ゴルフシャフト部門が自社ブランド商品を中心に好調に推移した。

## 新型コロナウイルス拡大による影響

- 自動車市場において、上半期受注が低迷した。
- 印刷材料部門は、通期で影響を受けた。
- アウトドア用品部門が、度重なる緊急事態宣言発令の影響を受けた。

# 2021年3月実績

- 全セグメントが世界経済停滞の影響を受けたが、液晶・半導体設備投資とスポーツ用品が牽引、自動車市場も下期回復
- 収益性の面では生産体制の適正化、全社挙げての経費圧縮、継続的な原価低減が効果を上げ回復

(単位：百万円)

	2020年3月期 実績	2021年3月期 1 Q段階計画	2021年3月期 直近修正計画	2021年3月期 実績	期初計画比	前期比
売上高	31,999	27,700	28,900	29,275	+5.6%	▲8.5%
営業利益	891	▲100	800	1,172	-	+31.5%
営業利益率 (%)	2.7%	-	2.7%	4.0%	-	+1.3P
当期利益	390	▲200	700	1,182	-	+202.6%

# 主要セグメント別実績



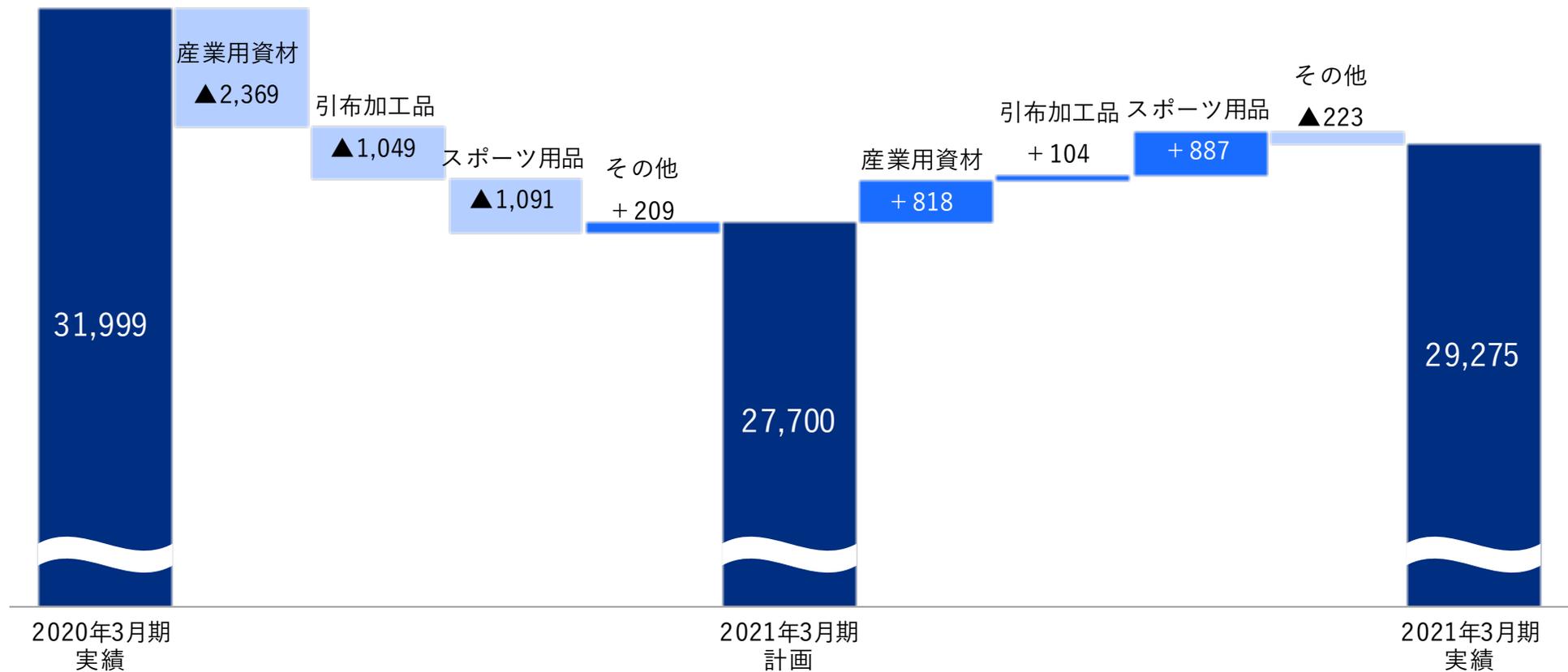
(単位：百万円)

セグメント		2020年3月期 実績	2021年3月期 実績	前期比	トピックス
産業用資材	売上高	20,568	19,017	▲7.5%	国内において、上期自動車市場停滞の影響を受け、セグメント売上減収。
	営業利益	506	380	▲24.9%	減収の影響を受け、稼働率低下の影響を吸収できず、セグメント利益減益。
	営業利益率	2.4%	2.0%	▲0.4P	—
引布加工品	売上高	5,148	4,203	▲18.3%	印材を中心に、コロナ禍の影響を大きく受け、セグメント売上減収。
	営業利益	145	39	▲73.0%	印材において、高価格帯製品の受注減の影響を受け、セグメント利益減益。
	営業利益率	2.8%	0.9%	▲1.9P	上記の通り、減収と減益両面の影響から、セグメント利益率は大きく低下。
スポーツ用品	売上高	5,890	5,686	▲3.5%	アウトドア用品がコロナ禍の影響を受けた。
	営業利益	669	1,238	+84.9%	ゴルフ用カーボンシャフトが自社ブランド商品の販売好調。
	営業利益率	11.3%	21.7%	+10.4P	利益率の高い自社ブランドシャフトが好調のため。

# 2021年3月期 売上高の増減要因分析

2020年3月期 実績 ⇒ 2021年3月期 計画 ⇒ 2021年3月期 実績

(単位：百万円)



期初想定レート：JPY105/USD、JPY16/CNY



前期実績比  
▲4,299百万円

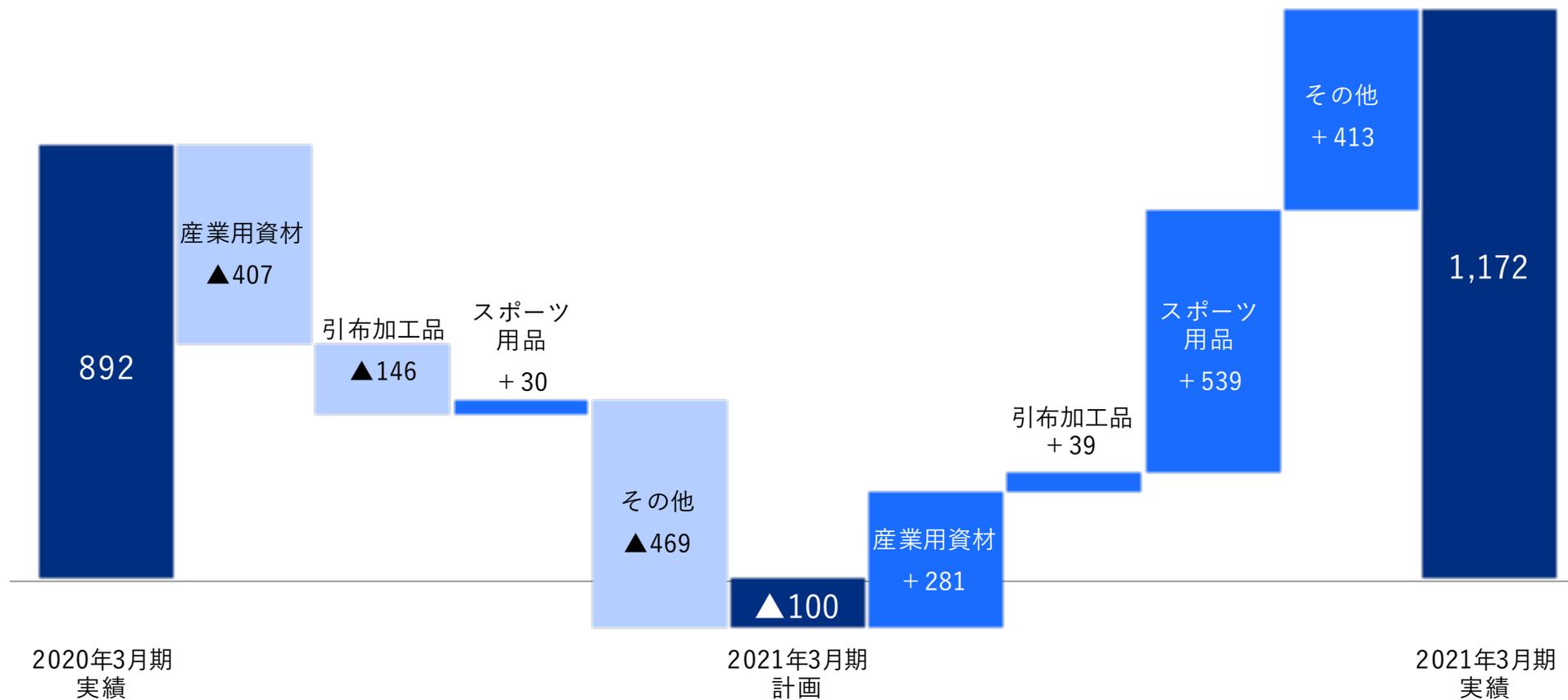


計画比  
+1,575万円

# 2021年3月期 営業利益の増減要因分析

2020年3月期 実績 ⇒ 2021年3月期 計画 ⇒ 2021年3月期 実績

(単位：百万円)



期初想定レート：JPY105/USD、JPY16/CNY



前期実績比  
▲992百万円



計画比  
+1,272百万円

# 財務内容



(単位：百万円)

	2020年3月期		2021年3月期			内容
	期末残高	構成比	期末残高	構成比	増減額	
流動資産	20,801	58.3%	20,707	59.3%	▲94	在庫の圧縮を進めたため、棚卸資産が減少
固定資産	14,825	41.6%	14,168	40.6%	▲656	コロナ禍の影響で設備投資を抑制
資産合計	35,626	100.0%	34,875	100.0%	▲750	—
流動負債	8,779	24.6%	7,981	22.8%	▲798	手元資金安定、借入金を返済
固定負債	3,033	8.5%	2,074	5.9%	▲958	計画通り借入金を返済
負債合計	11,812	33.1%	10,056	28.8%	▲1,756	—
純資産合計	23,813	66.8%	24,819	71.1%	+1,006	当期純利益の計上により利益剰余金が増加
負債・純資産合計	35,626	100.0%	34,875	100.0%	▲750	—

# キャッシュフロー計算書

(単位：百万円)

	2020年3月期	2021年3月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,719	3,129	+410
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲2,169	▲1,374	+795
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲96	▲1,449	▲1,353
現金及び現金同等物の増減額	340	251	▲88
現金及び現金同等物の期首残高	5,188	5,528	+340
現金及び現金同等物の期末残高	5,528	5,780	+251

## 営業活動によるキャッシュ・フロー

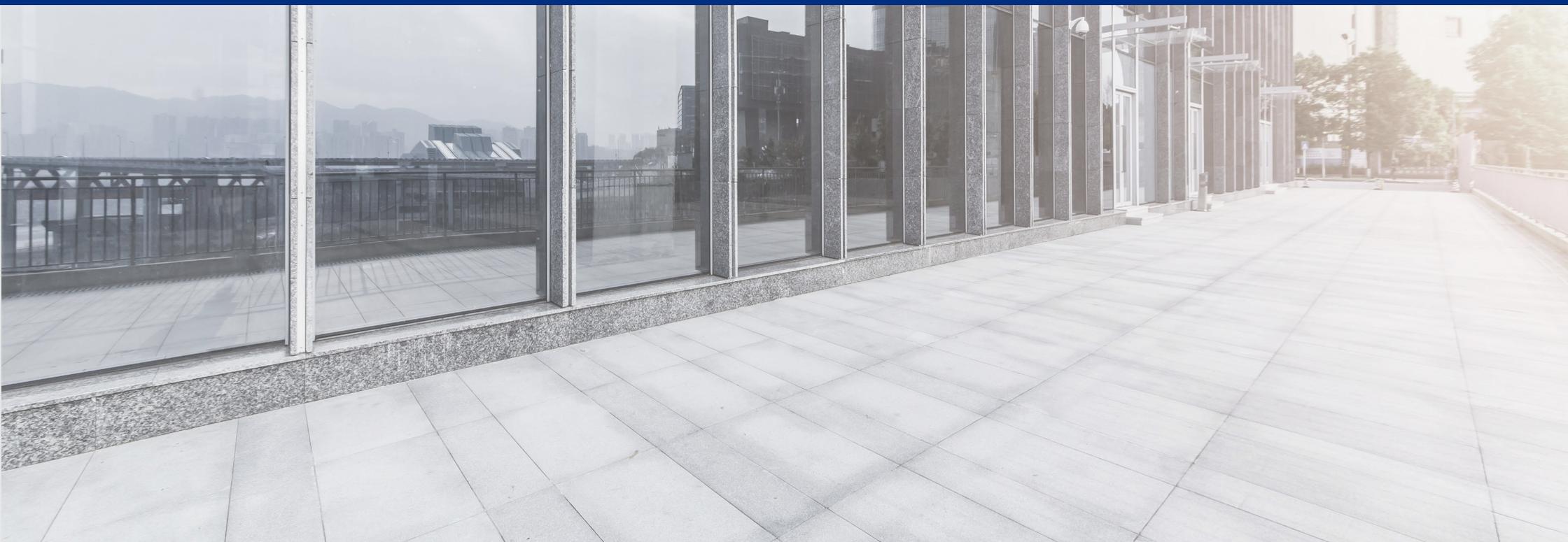
主に「税金等調整前当期純利益」を15億2千5百万円及び「減価償却費」を14億1千4百万円計上したことによるもの。

## 投資活動によるキャッシュ・フロー

主に「有形固定資産の取得による支出」14億1千1百万円によるもの。

## 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に「長期借入金の返済による支出」9億3千万円によるもの。



## III. 2022年3月期決算予想

---



# 2022年3月期 決算サマリー ～主要な外部環境～

分類		2022年3月期の外部環境	2021年3月期の結果	2022年3月期の計画
自動車	海外	<ul style="list-style-type: none"> <li>中国、北米市場は堅調を維持、ASEAN地域は前期並みを見込む</li> </ul>		
	国内	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内市場は回復しつつあるものの、部品調達難により回復途上</li> </ul>		
住宅設備・インフラ		<ul style="list-style-type: none"> <li>インフラ関係は前期に続き低調、住宅設備機器関連は引き続き堅調に推移すると見込む</li> </ul>		
産業機械	液晶・半導体	<ul style="list-style-type: none"> <li>関連設備投資は好調が続くと見込む</li> </ul>		
医療		<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き、堅調に推移すると見込む</li> </ul>		
スポーツ	ゴルフ	<ul style="list-style-type: none"> <li>国内、海外とも前期下期の好調が継続すると見込む</li> </ul>		

# 2022年3月期計画

- 2022年3月期の世界経済は回復へ向かうものの、地域により格差が生じるものと推測、コロナ禍以前の水準には戻らない前提で計画。
- 各セグメントともこれまでの施策を継続し、収益性の維持に努める。

(単位：百万円)

	2021年3月期 実績	2022年3月期 計画	前期比 (%)	前期比 (額)
売上高	29,275	31,000	+5.9%	+1,724
営業利益	1,172	1,100	▲6.2%	▲72
営業利益率 (%)	4.0%	3.5%	▲0.5P	—
当期利益	1,182	1,200	+1.5%	+18

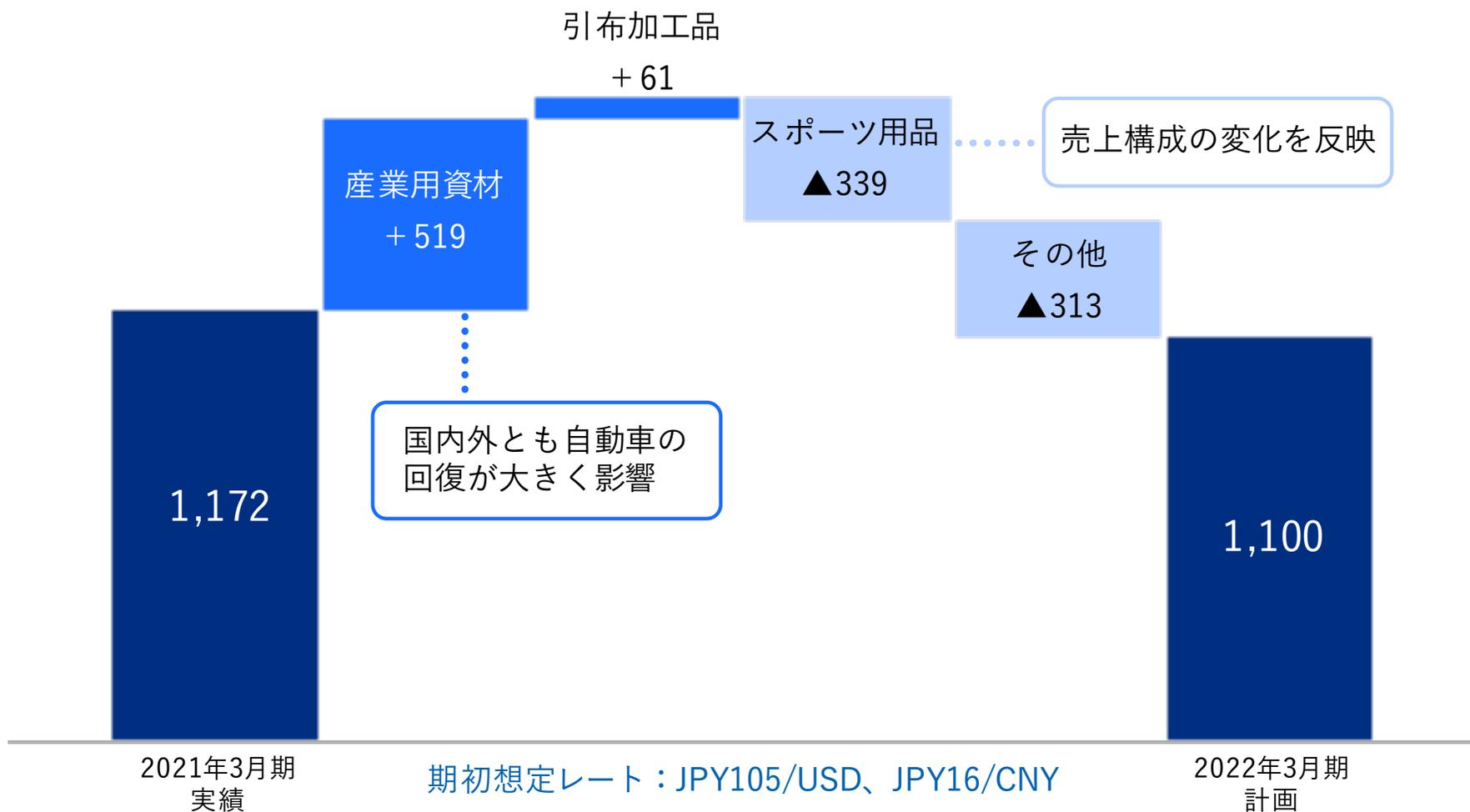
# 主要セグメント別計画

(単位：百万円)

セグメント		2021年3月期 実績	2022年3月期 計画	前期実績比
産業用資材	売上高	19,018	20,500	+7.8%
	営業利益	381	900	+136.4%
	営業利益率	2.0%	4.4%	+2.4P
引布加工品	売上高	4,204	4,300	+2.3%
	営業利益	39	100	+154.6%
	営業利益率	0.9%	2.3%	+1.4P
スポーツ用品	売上高	5,687	5,500	▲3.3%
	営業利益	1,239	900	▲27.4%
	営業利益率	21.8%	16.4%	▲5.4%

# 2022年3月期 営業利益の増減要因分析

(単位：百万円)

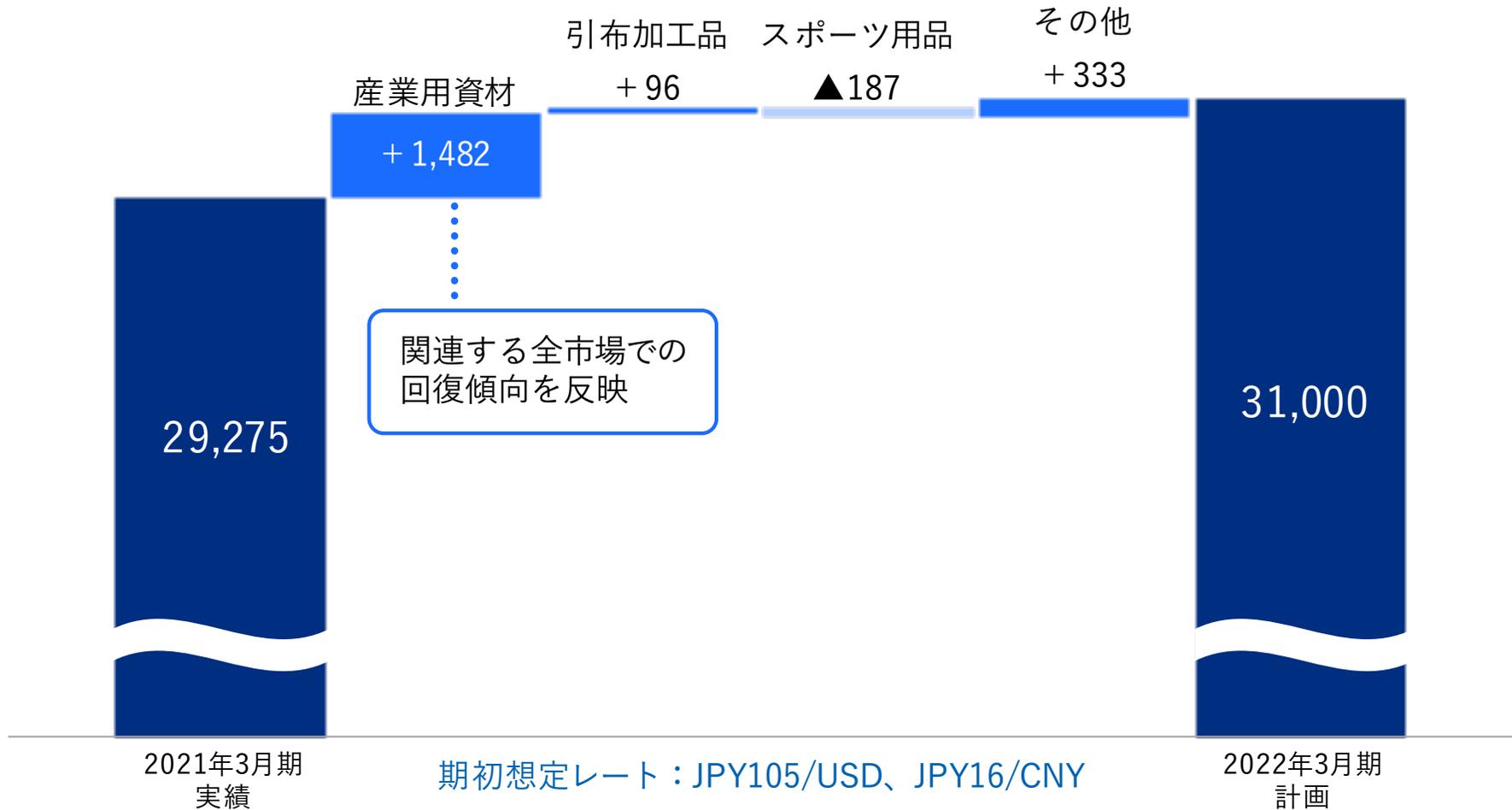


前期実績比

▲72百万円

# 2022年3月期 売上高の増減要因分析

(単位：百万円)



前期実績比  
+1,725百万円

## セグメント別 課題と対策

### 2021年3月期実績

### 2022年3月期計画

産業用資材  
自動車・  
住宅設備・  
インフラ



上期低調に推移したものの、下期は中国、北米市場が牽引し回復した。ASEAN地域は回復途上であり、見通しが立たず。



住宅設備は堅調に推移。インフラ関係は、工事の延期などが重なり低調。

収益

原価低減、不良低減等の施策を実施したが、操業停止などカバーしきれず低調



地域による回復格差が顕著に表れているが、回復方向に向かうも2020年3月期の水準までは戻らない見込み。



住宅設備は国内は減退するも海外での需要に支えられ、前期並みを見込む。インフラ関係は今期も低調を見込む。

収益

各種施策を継続するとともに、自動化の推進により原価低減、不良低減をさらに加速させ改善を加速



産業用資材  
液晶・半導体

- 半導体関連設備投資が好調を維持し堅調に推移し、収益性も高い水準を維持できた。

- 世界的な半導体不足は継続しており、関連する設備投資も好調を継続すると見込む。

産業用資材  
医療

- 堅調に推移したものの、開発品の立ち上げが遅れた。

- 今期も堅調に推移、遅れていた開発品の立ち上げを見込む。
- 昨期実施した設備投資について確実に立ち上げ、本格稼働できる体制を整える。

引布加工品

- 救命筏の整備事業が軌道に乗り、安定した受注を確保できた。

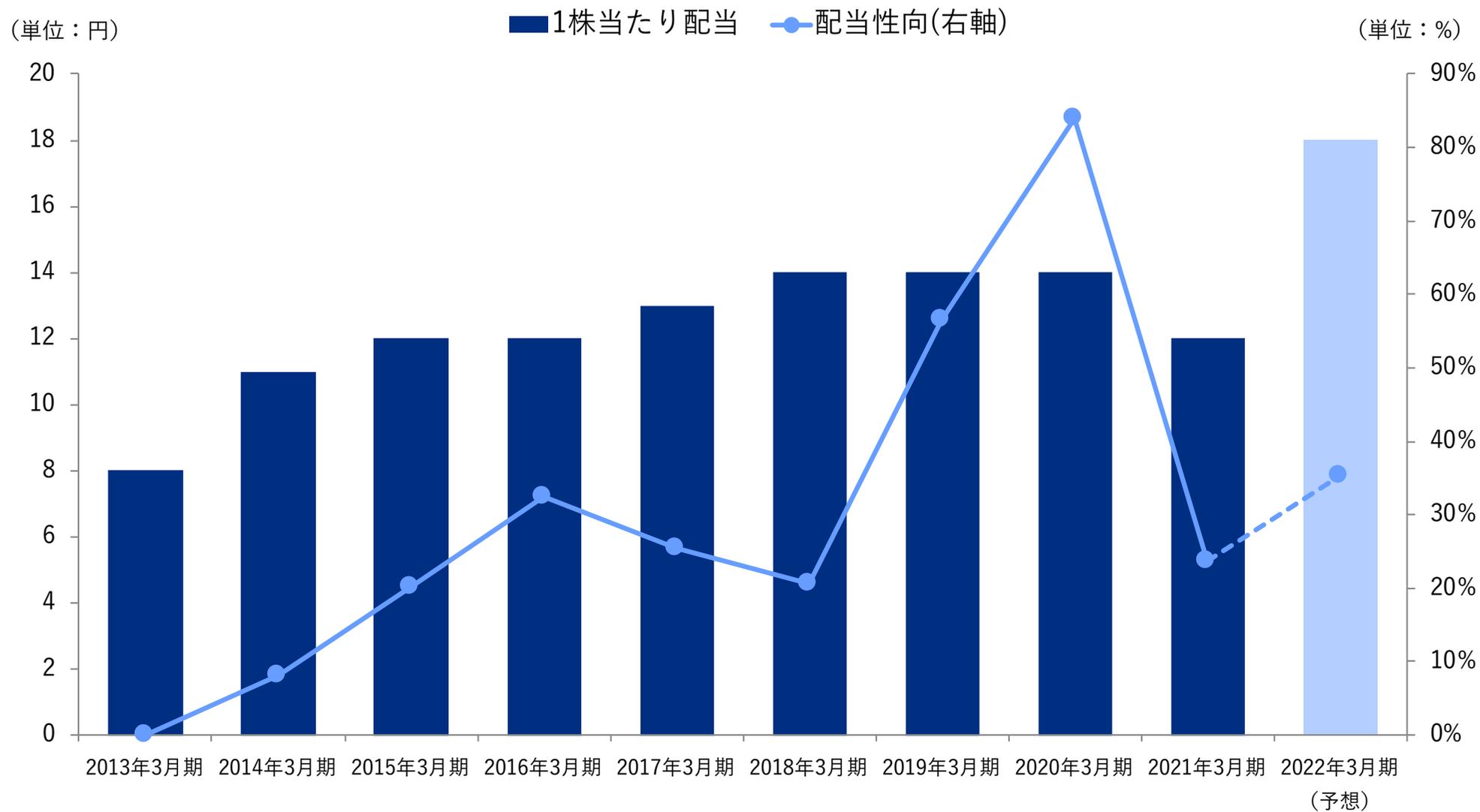
- 新型救命筏の開発が完了し市場へ投入し、受注拡大を図る。
- 新市場として医療用陰圧テントの開発、販売を進める。

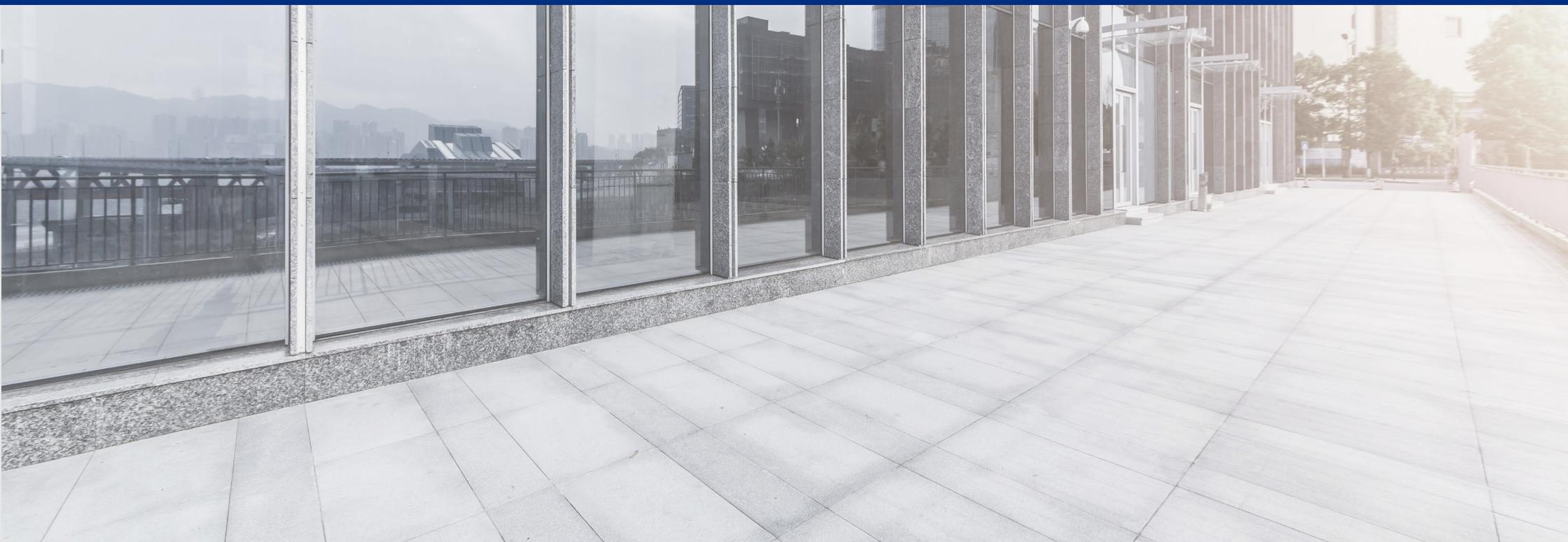
スポーツ用品

- 大手ゴルフクラブメーカーへのOEM製品の販売が低迷したものの、北米モデル「VENTUS」、日本モデル「Speeder EVOLUTION VII」の販売が好調に推移。

- 大手ゴルフクラブメーカーへのOEM製品の販売を復調させ、継続してカタログ品の販売に注力する。

# 株主還元 1株当たり配当金の推移





## IV. 中期経営計画

---

収益性の向上が最重要課題

3ヵ年計画の達成に向け、第5次中期経営計画の施策を確実に結実させていく



# 前中期経営計画の振り返り

- 各セグメントとも好調なスタートを切れたが後半は米中貿易摩擦の影響を大きく受け、売上、利益とも減速した。
- 設備投資等については一部においては投資環境の変化を鑑み取捨選択し実施した。
- 開発品については目途のたったものから実行組織へ移管し、販促活動を開始した。  
(医療、電池、センサ)

	2017年3月期 実績	前中計目標	2020年3月期		2021年3月期 (参考値)
			実績	2017年3月期比	
売上高	316.2億円	1,000億円以上	319.9億円	+1.1%	292.7億円
営業利益率	5.4%	8%以上	2.7%	△2.7%	4.0%

セグメント	売上高			営業利益		
	2017年3月期 実績	2020年3月期 実績	2021年3月期 (参考値)	2017年3月期 実績	2020年3月期 実績	2021年3月期 (参考値)
産業用資材	198.6億円	205.6億円	190.1億円	12.9億円	5.0億円	3.8億円
引布加工品	52.0億円	51.4億円	42.0億円	2.1億円	1.4億円	0.3億円
スポーツ用品	61.9億円	58.9億円	56.8億円	6.7億円	6.6億円	12.3億円

第6次中期経営計画 20年度-24年度

## TRANS } FORM

変化にチャレンジし、「変わる」から「変える」へ



現在

売上高：29,275百万円  
営業利益：1,172百万円  
営業利益率：4.0%  
ROE：4.8%

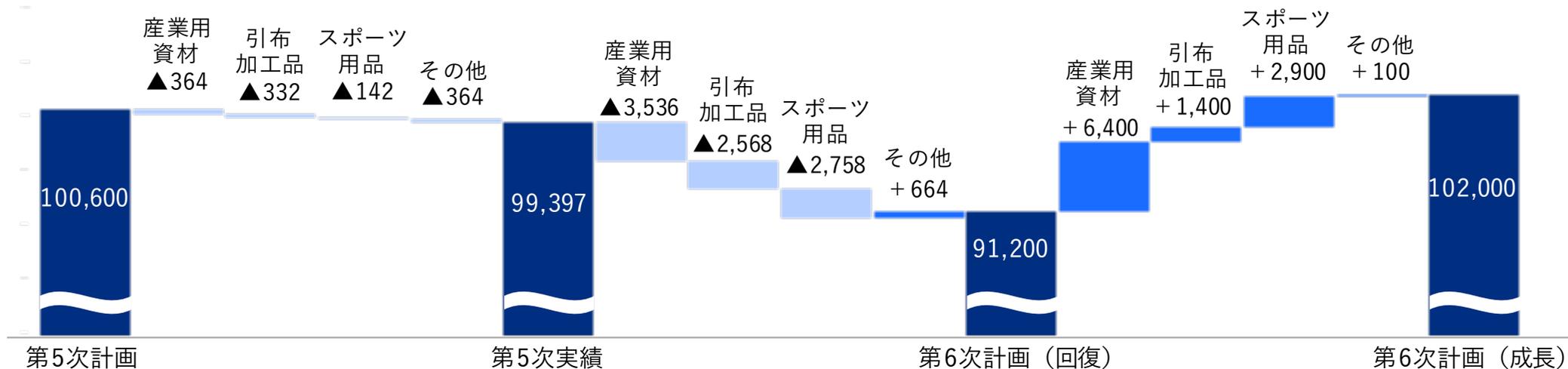
単位：百万円		売上高	営業利益	営業利益率
実績見通	2020年度(142期)	29,000	1,000	3.4%
予算	2021年度(143期)	30,700	1,100	3.5%
予算	2022年度(144期)	32,400	1,600	4.9%
予算	2023年度(145期)	33,900	2,000	6.0%
予算	2024年度(146期)	35,400	2,300	6.7%

# 中期経営計画 経営目標①

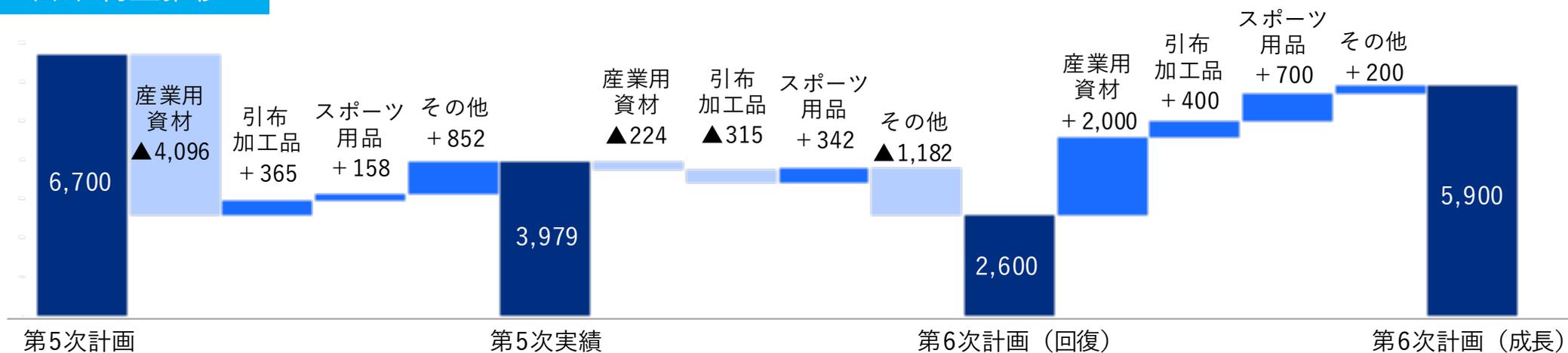
単位：百万円		第5次		第6次（回復）	第6次（成長）
		計画	実績	計画	計画
売上高	連結	100,600	99,397	91,200	102,000
	産業用資材	64,000	63,636	60,100	66,500
	引布加工品	15,900	15,568	13,000	14,400
	スポーツ用品	19,200	19,058	16,300	19,200
	その他	1,500	1,136	1,800	1,900
営業利益	連結	6,700	3,979	2,600	5,900
	産業用資材	6,520	2,424	2,200	4,200
	引布加工品	250	615	300	700
	スポーツ用品	2,100	2,258	2,600	3,300
	その他	▲2,170	▲1,318	▲2,500	▲2,300
営業利益率（%）		6.7%	4.0%	2.9%	5.8%

# 中期経営計画 経営目標②

## 売上高推移



## 営業利益推移



# セグメント計画：産業用資材

売上高

230億円  
【2025年3月期】



190億円  
【2021年3月期】

営業利益

16億円  
【2025年3月期】



3億円  
【2021年3月期】

## セグメント中期計画概要

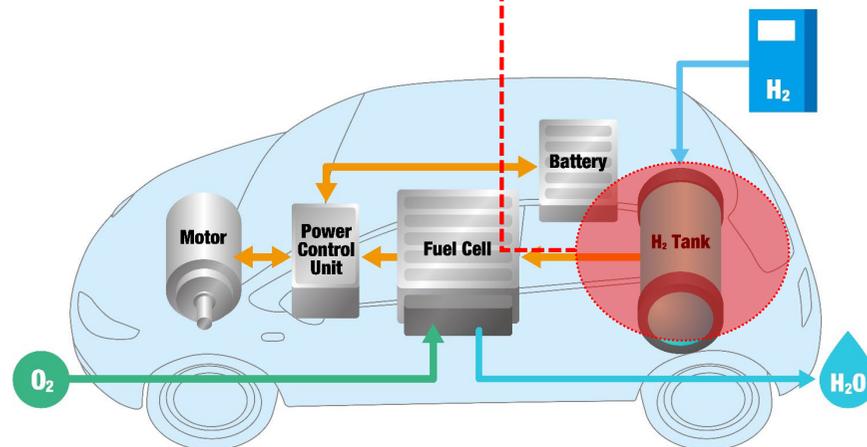
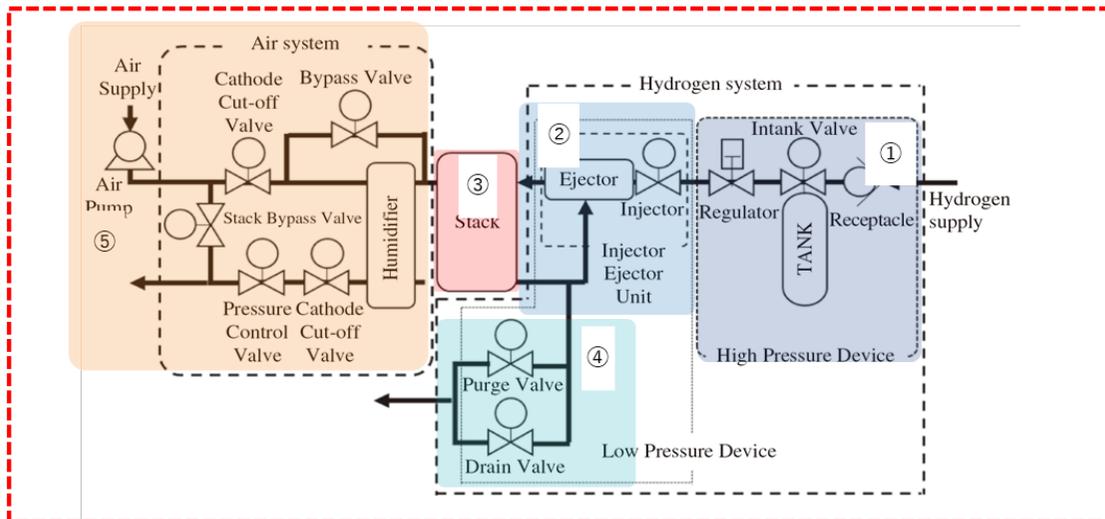
- 自動車及び住宅設備は2021年3月期を底に回復、現流動品の減少を新規受注を獲得しながら2025年3月期で完全回復を目指す。
- 液晶・半導体関連の設備投資は2025年3月期まで続くと予想され、その後ピークアウト、成長ドライバーとして事業戦略アイテムの拡販を第6次中計で軌道に乗せる。
- 利益面では前中計で投資を実行した自動化推進による原価低減、不良低減を確実に実らせ、改善を図る。

## 事業戦略の概要

- 次世代自動車プロジェクトを推進室とし全社組織へ変更。パワートレイン別に複合技術の強みを生かした戦略を立案し、将来の事業基盤とする。
- 既存の耐火材、摺動材を中心とした高機能材料を住宅設備分野へ販売促進。
- カーボンニュートラルの実現に向けた流れにのり、風力発電ブレード保護シートをグローバルで販売促進。
- WattSatt、アクアチャージを継続販売、防災品としての認知度を高める。
- 精密分野において精密シリンダ、精密加圧ヘッド、除振装置で技術を蓄積し、自社装置販売へつなげる。
- 医療分野においては量産実績を確実に積み上げ、大型案件の受注と新規開発へのアプローチを強化する。
- 荷重センサ、液体検知センサの用途を開拓し積極的なアプローチから実績作りを確実に行う。

## 次世代自動車推進室

インジェクターユニット、レギュレータなど流体を制御し、FCVをささえる様々な部品を提供



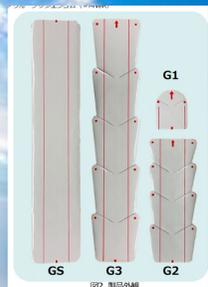
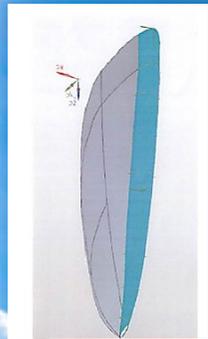
## 金型技術

高度な金型技術でバリレス成形を実現



## ブレード保護シート

ブレード保護シートはエロージョン耐性を向上させ、メンテナンス周期を長期化させます



## 非常用モバイル充電器

非常用モバイル充電器に欠かせない **3つの特長** を備えた  
**アクアチャージ**



**1**

長期保存でも  
確実に充電

**5年間の長期保存が可能！**

保管中にも性能が劣化することはありません。

**2**

すぐに  
充電開始

**11,000mAhの大容量！スマート**

**フォン約2台をフル充電**することが可能です。

**3**

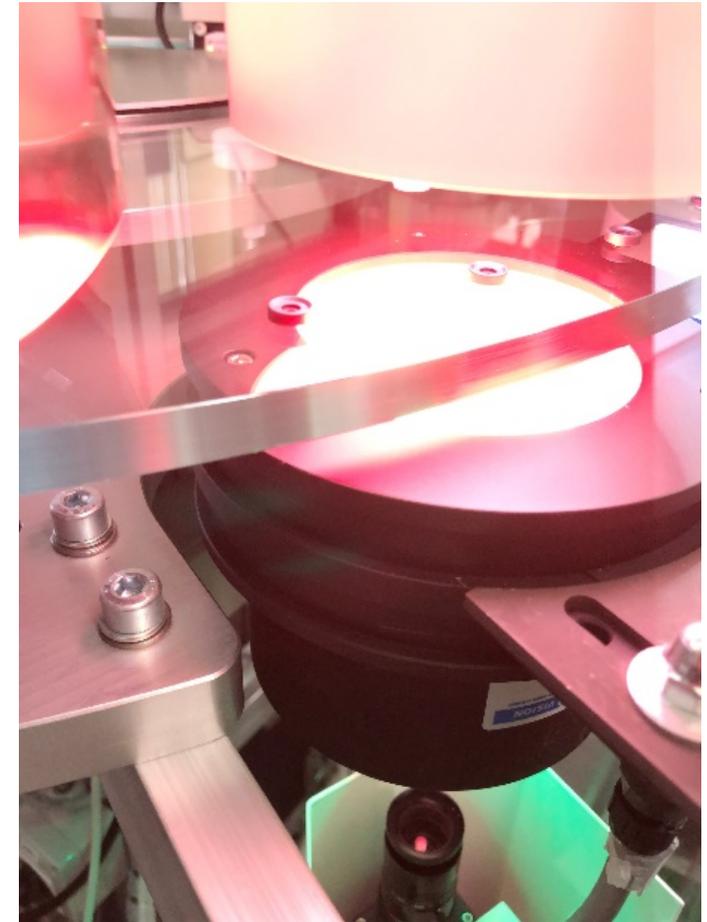
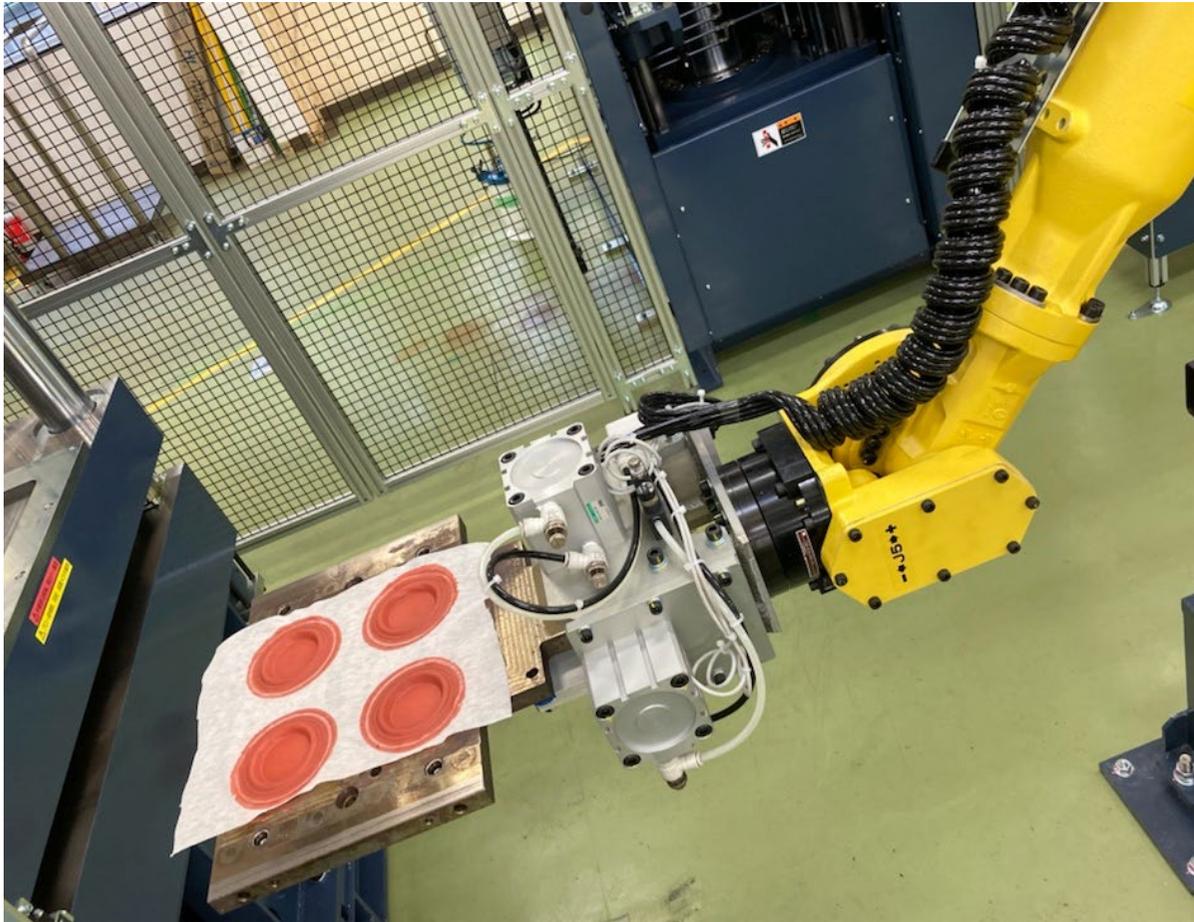
短時間で  
フル充電

**家庭用コンセントの充電と同等**

の時間で充電が可能です。  
※急速充電には対応していません

## 自動化設備

設備の自動化により、原価低減と、品質向上を推進



## 精密加圧ヘッドユニット

精密加圧ヘッドユニットにより  
各種接合に幅広く対応



## 医療用逆止弁自動組立

ディスプレイブル用途として  
大量生産が可能な仕様



# セグメント計画：引布加工品

売上高

50億円  
【2025年3月期】



42億円  
【2021年3月期】

営業利益

3億円  
【2025年3月期】



0.3億円  
【2021年3月期】

## セグメント中期計画概要

- 引布加工品は官需による安定受注、救命いかだ整備事業の拡大、産業資材での新規獲得で堅実な成長を目指す。
- 印刷材料はグローバルブランドを投入し、ブランドイメージの回復を図り、売上増加を目指す。

## 事業戦略の概要

- 新型筏により競争力を向上しつつ、整備事業契約獲得の増加を目指し、中長期的な収益基盤の安定化を図る。
- エアータントの既存技術を活用し、医療用陰圧テントの開発、販売を目指す。

## 救命いかだ

安全性とともに小型・軽量・省スペース化など  
顧客ニーズに対応するため、  
2021年度、新製品を市場投入



## 医療用陰圧式エアーテント

エアー充填のみで自立する感染対策  
医療用陰圧式エアーテントを市場投入



# セグメント計画：スポーツ用品

売上高

68億円  
【2025年3月期】



56億円  
【2021年3月期】

営業利益

12億円  
【2025年3月期】



12億円  
【2021年3月期】

## セグメント中期計画概要

- ゴルフシャフトは国内における市場シェアを維持しつつ、北米拠点と協働でグローバルでのブランディング戦略を実行する。
- 産業用品はこれまでの多様な商品開発から「選択と集中」を実現し、第6次中計中に大型量産案件を立ち上げ、収益基盤を確実なものとする。
- 利益面では現在の収益性を維持しつつ、各拠点、協力会社の役割を明確にして増減に柔軟な対応ができる体制を構築する。

## 事業戦略の概要

- 継続してグローバルでのブランディング戦略を推進する。
- 産業用品においてEV及びFCV、無人飛行機、ロボットの市場に絞り込み複合技術を生かしながら事業化を目指す。
- 新カテゴリーシューズ【CRV】を2022年初春に販売開始する。登山にとらわれないライトアウトドアを意識した商品群でカジュアルや靴市場でのシェア獲得を目指す。

## ゴルフシャフト



## 登山靴・トレッキング・ハイキングシューズ



## サステナビリティ経営の実現に向け 「変化にチャレンジし、変わるから変えるへ」

### 事業ポートフォリオの再認識と再構築

収益性、継続性を加味して  
関係会社を含めた再認識、分析、再構築へ

### 業務改革推進室の設置

部分最適化の業務改善から  
全体最適化の業務改革へ  
DX投資に向け着実なステップを踏む

### SDGs推進委員会

優先課題が決定、KPI設定のフェーズへ

### 健康経営の推進

健康経営プロジェクト、  
2021年スポーツエールカンパニー継続認定

# ROE向上に対する考え方

	2020/3 (実績)	2021/3 (実績)	2023/3 (目標)	ROE向上のための施策
<b>ROE</b>	1.6%	4.8%	5.6%	<ul style="list-style-type: none"> <li>7%以上を目指して各施策を着実に進める</li> </ul>
(収益性) ① 売上高純利益率 $\text{当期純利益} \div \text{売上高}$	1.2%	4.0%		<ul style="list-style-type: none"> <li>事業戦略を進め、高付加価値品の売上高を向上させることで、収益性改善を実現</li> </ul>
×				
(資産効率性) ② 総資産回転率 $\text{売上高} \div \text{総資産}$	1.1回	1.2回		<ul style="list-style-type: none"> <li>生産体制最適化推進により、資産効率性の向上を実現させる</li> </ul>
×				
③ 財務レバレッジ $\text{総資産} \div \text{自己資本}$	1.5倍	1.4倍		<ul style="list-style-type: none"> <li>最適資本構成の追求を行うものの、現状水準維持の想定</li> </ul>

	第5次中期経営計画 計画	第5次中期経営計画 結果	第6次中期経営計画 計画
海外拠点補強	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 中国 安吉藤倉生産能力増強・フルキャパ生産</li> <li>● ベトナム FCH生産能力増強投資・事業再編実施</li> <li>● 第5生産拠点検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 環境規制の改正により第3期工事予定地の契約を解除</li> <li>● 第1、2期工場に生産設備を増強しフルキャパ生産</li> <li>● 事業再編により不採算事業の撤退を完了、生産能力増強投資も完了しフルキャパ生産</li> <li>● 国際情勢の変化により検討を一時凍結、中国拠点の再編に合わせ再検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地政学的リスクを最小化するため地産地消推進を基本方針とし、米国、中国、ベトナム、第5生産拠点すべてを加味した再配置を計画立案</li> </ul>
稼ぐ力の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生産技術センタープロジェクト発足・設備投資・本稼働</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 設備投資を完了し、生産技術部を組織化、運用開始</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 自動化推進による原価低減、不良低減を確実に実らせ収益性を向上、全社へ横断的に展開</li> </ul>
新規事業開拓	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 医療推進プロジェクト発足 ・ISO13485取得・生産設備投資</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● プロジェクトから実行部隊の事業部へ移管を完了、量産設備の導入も完了</li> <li>● ISO13485取得済み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 開発フェーズから量産フェーズへ移行、市場実績を確実に積み上げ</li> <li>● 新規引き合い獲得から追加投資を実行</li> </ul>
業務改革の推進	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 業務改革推進室を設置し、DX投資に向けた計画立案、業務改革を実行</li> </ul>

# 新LIM棟が完成いたしました

中期経営計画の基本戦略の一つとして、福島県南相馬市にあります原町工場の敷地内に工場建屋を新設いたしました。

新建屋へは医療用ゴム製品を含むLIM製品（Liquid Injection Molding）の生産設備を移管し、生産効率を改善することが目的です。また、移管後の空いたスペースには、品質管理体制をより強化させるために生産技術センターを設置いたしました。



新LIM棟	設備投資額	1,081百万円（建屋他）
	延べ床面積	4,562.53㎡（2階建て）

## E

### “暮らし” “ものづくり” “エネルギー” をささえる

- 製品の供給をとおして環境負荷低減に貢献します。  
(次世代自動車、省エネ住宅設備、再生可能エネルギー関連部品 など)
- 生産活動をとおして廃棄物、VOCの削減に努めます。

## Environment

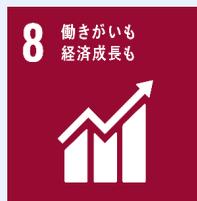
## S

### “いのち” “レジャー” をささえる

- 製品の供給をとおして社会の課題解決に貢献します。  
(医療機器、救命いかだ、ゴルフシャフト、ノルディックウォーキングポール など)
- 労働環境の改善に積極的に取り組みます。  
(長時間労働削減に向けた取り組み、テレワーク推進環境の整備・運用 など)

## Social

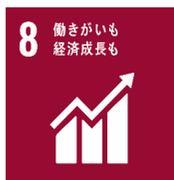
## 藤倉コンポジットが注力する7つのSDGs目標



**健康経営**  
 スポーツエールカンパニー  
 医療機器部品  
 ゴルフシャフト、ノルディックウォーク、スポーツ吹き矢



**電気自動車**  
 ガス・電気・電力関連製品  
 省エネ、再生可能エネルギー  
 現地調達



**安全衛生**  
 長時間労働削減、テレワーク  
 雇用促進、高齢者・障害者雇用  
 従業員教育



**半導体関連製品**  
 自動化  
 資源利用効率の向上



**工業用ゴム部品**  
 UV印刷  
 いかだ  
 廃棄物削減



**廃棄物・化学物質削減**  
 不良低減



**CO2排出削減**  
 不良低減  
 災害対策製品

## G

### 当社はコーポレート・ガバナンスに関する 基本方針を立てております。

(基本方針)

引き続き、ステークホルダーとの適切、かつ継続的な協力関係のもと、中長期的な企業の存続、企業価値の向上を実現するため、より実効性の高いコーポレート・ガバナンスを目指してまいります。

- 投資家との積極的な対話を強化します。
- SDGs推進委員会を発展させることで、サステナビリティ委員会の設置を検討していきます。
- ROE目標達成を目指すことで、資本効率を意識した経営を実現していきます。

## Governance

ご清聴ありがとうございました

## 【注意事項】

資料の内容につきましては細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤りおよび当資料に掲載された情報に基づいて被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切責任を負いかねます。

また、当資料に記載されている当社の現在の計画、戦略などは、当社が現時点で入手可能な情報を基礎として作成した見通しであり、これらの将来予測には、リスクや不確定な要因を含んでおります。

そのため、実際の業績につきましては、記載の見通しと大きく異なる結果となることあり得ます。従って、当社として、その確実性を保証するものではありませんのでご了承ください。

藤倉コンポジット株式会社  
人事総務部 総務広報チーム  
TEL：03-3527-8412 FAX：03-3527-8330